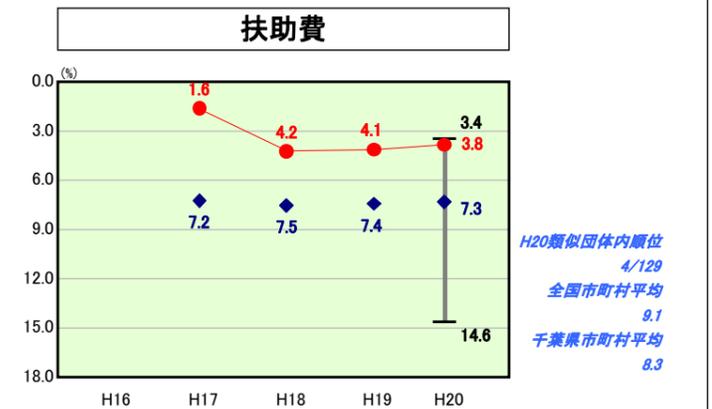
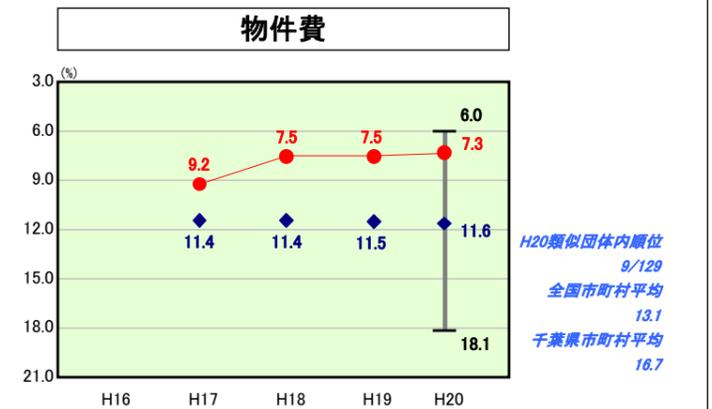
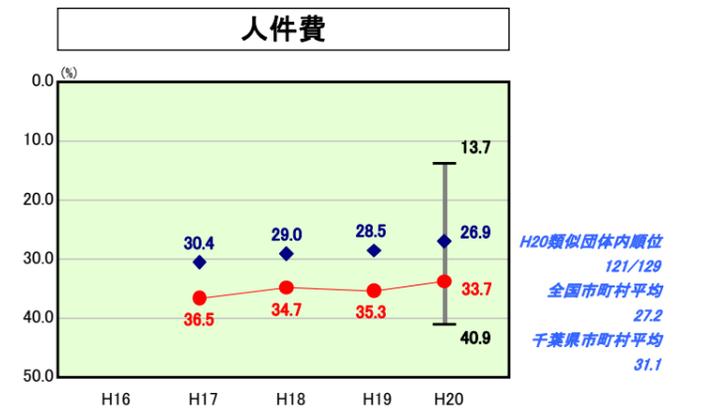
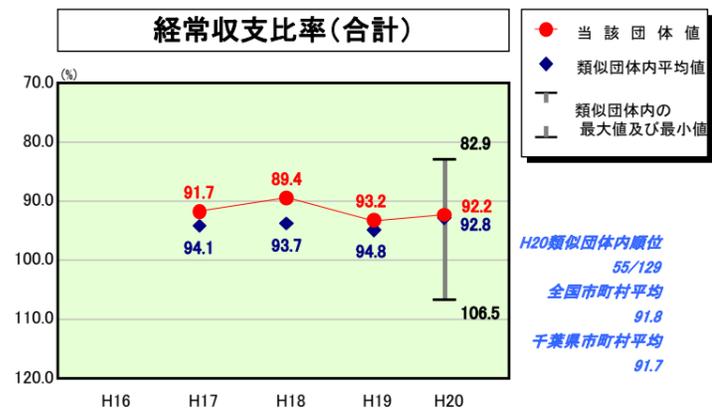
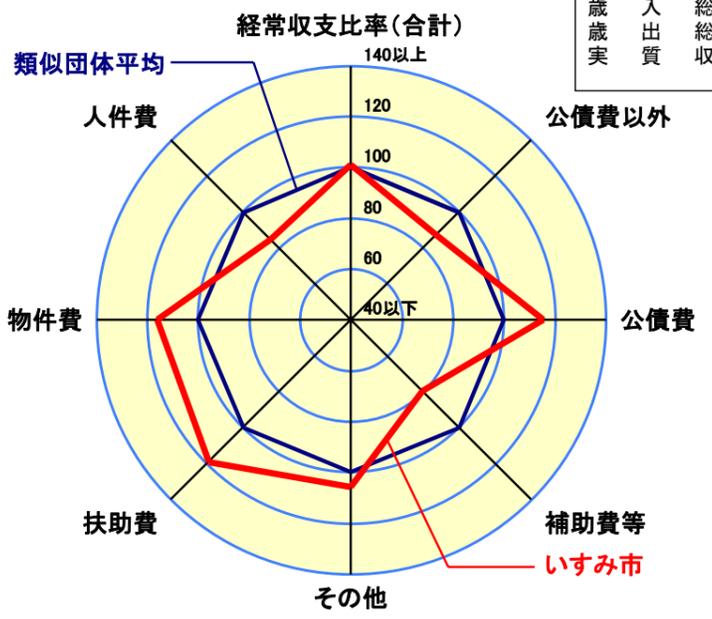


歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



人面標準	口積	42,488人(H21.3.31現在)
歳入総額	規模	157.50km ²
歳出総額		10,085,904千円
実質収支		15,264,449千円
		14,517,568千円
		657,712千円



※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
 ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
 ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【人件費】
 合併後、定員適正化計画を策定し、平成18年度から職員数の削減に取り組んでいる。その結果、人件費に係る経常収支比率も年々減少してきており、昨年度と比較すると1.6ポイント減少している。しかし、類似団体との比較では平均を上回っていることから、今後も施設の統廃合、組織機構の見直しと併せ、定員管理の適正化を図り、人件費の削減に努める。

【物件費】
 物件費に係る経常収支比率は昨年度と比較すると0.2ポイント減少し、類似団体平均と比較しても下回っている。平成23年度には保育所の統廃合が予定され更なる削減が見込まれており、今後も引き続き指定管理者制度の活用や合併によるスケールメリットを最大限に活かしながら、効率的な行政運営に努める。

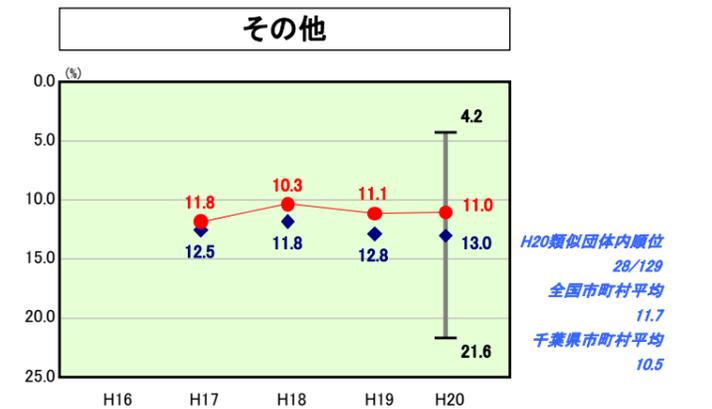
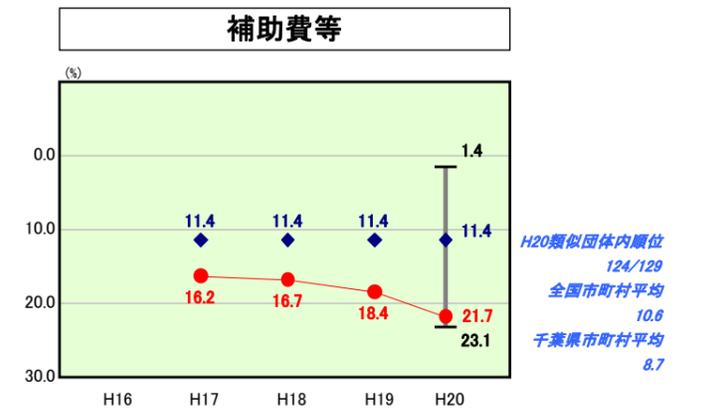
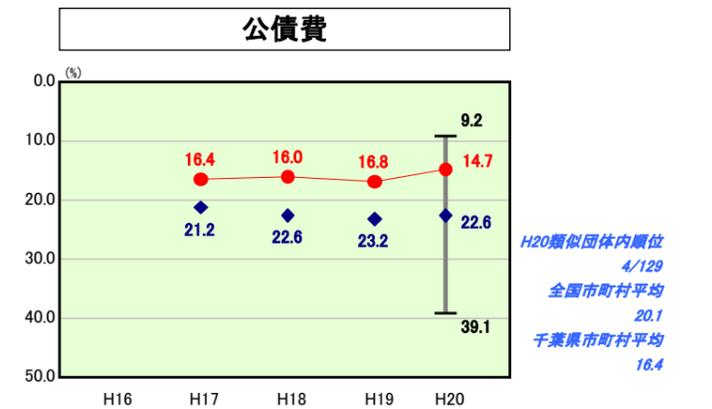
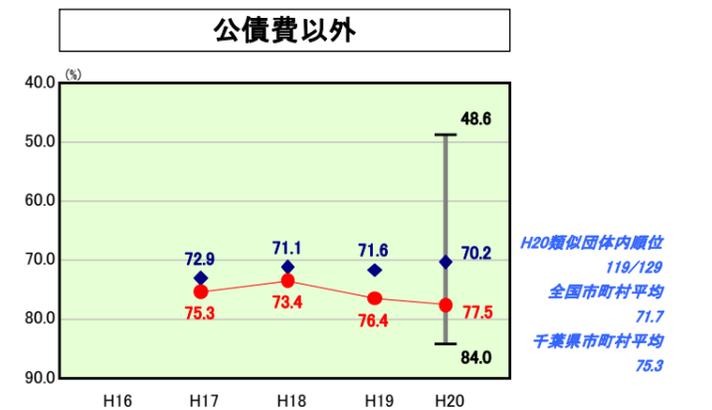
【扶助費】
 扶助費に係る経常収支比率は昨年度から0.3ポイント減少し、類似団体平均と比較しても3.5ポイント下回っているが、総額は増加傾向にある。今後も資格審査等の適正化を図り、最小の経費で最大の効果が発揮できるよう努める。

【公債費】
 いすみクリーンセンター改修や岬ふれあい会館建設などの地方債償還の終了や平成19年度に行った繰上償還の影響により、公債費に係る経常収支比率は昨年度と比較すると2.1ポイント減少し、類似団体平均と比較しても7.9ポイント下回っている。しかし、今後控えている中学校校舎等改築、防災行政無線等の施設整備や合併市町村振興基金造成のための地方債の償還開始により比率の上昇が予想されるため、今後も後年度の財政負担を考慮しながら地方債発行の抑制に努める。

【補助費等】
 介護保険事業計画に基づく地域密着型サービス拠点等施設整備に対する補助などが新たに追加されたほか、従来から上水道事業高料金対策に係る補助金が高額となっているため、補助費等に係る経常収支比率は増加傾向にあり類似団体平均と比較しても上回っている。定住促進など様々な施策を展開しているものの人口の減少が続いており、水道料金の増収が見込めないことが上水道事業高料金対策補助金の高額となった大きな要因となっている。今後は、いすみ市水道会計公営企業経営健全化計画に基づき水道事業の経営健全化を図り、普通会計の負担抑制に努めるとともに、その他の補助金についても、いすみ市補助金交付基準に基づき補助金の見直し等を行う。

【その他】
 類似団体平均との比較では2.0ポイント下回っているものの、国民健康保険事業会計への赤字補てん的な繰出金が多額になっているため、県内市町村平均を上回っている。今後は、国民健康保険税の適正化を図り普通会計の負担を減らしていくよう努める。

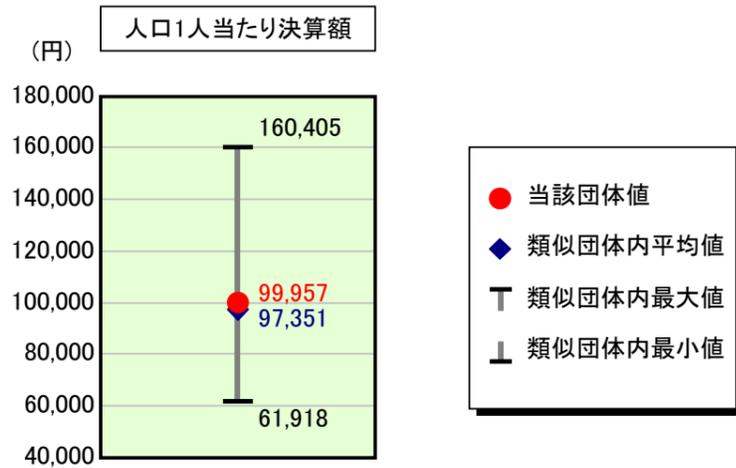
【普通建設事業費】
 普通建設事業費の人口1人当たり決算額は類似団体を下回る水準にあるものの、前年度と比較すると約6,900円増加している。これは、主に中学校校舎等改築事業(平成22年度完了予定)によるものである。今後も緊急度・優先度による事業選択により、普通建設事業費の抑制に努める。



歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

千葉県 いすみ市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



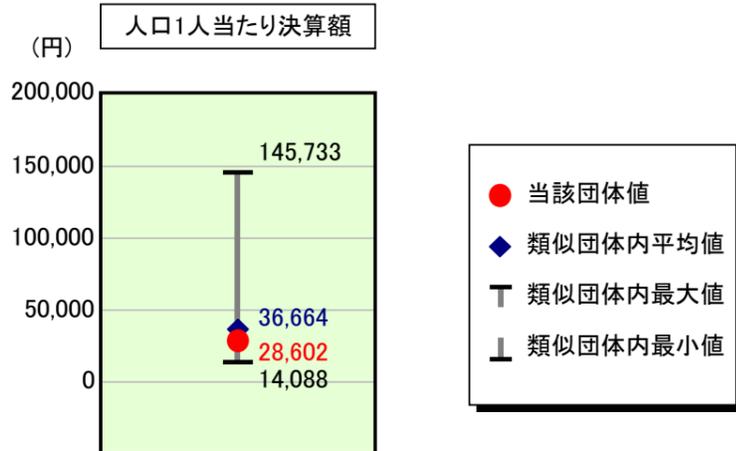
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	3,591,587	84,532	87,834	▲ 3.8
賃金(物件費)	183,152	4,311	4,894	▲ 11.9
一部事務組合負担金(補助費等)	759,116	17,867	9,731	83.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	687	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	139,717	3,288	3,500	▲ 6.1
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	21,301	501	1,822	▲ 72.5
▲退職金	▲ 447,879	▲ 10,541	▲ 11,117	▲ 5.2
合計	4,246,994	99,957	97,351	2.7

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.98	9.50	0.48
ラスパイレス指数	95.9	95.6	0.3

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

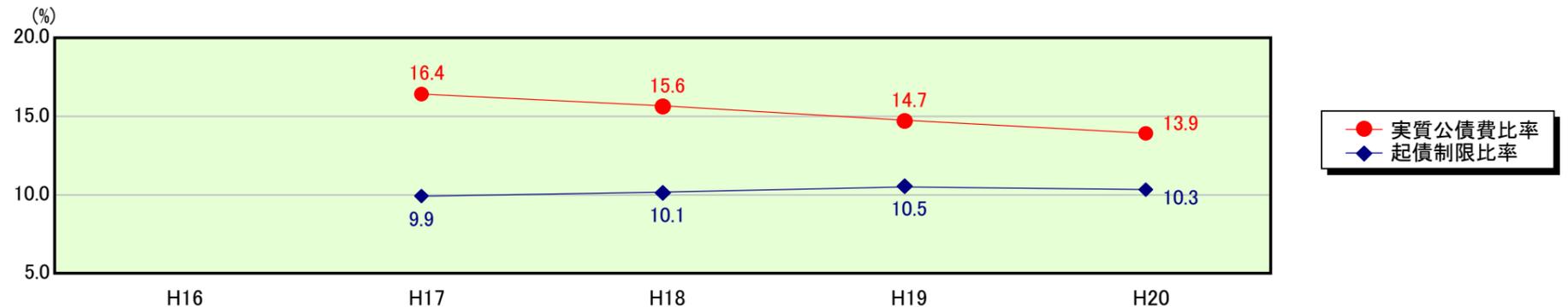


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	1,458,624	34,330	61,539	▲ 44.2
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	39	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	379,856	8,940	15,807	▲ 43.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	164,175	3,864	4,424	▲ 12.7
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	38	1	2,297	▲ 100.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	33	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 787,455	▲ 18,534	▲ 47,475	▲ 61.0
合計	1,215,238	28,602	36,664	▲ 22.0

平成21年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体については、「-」としている(以下の項目について同じ。)

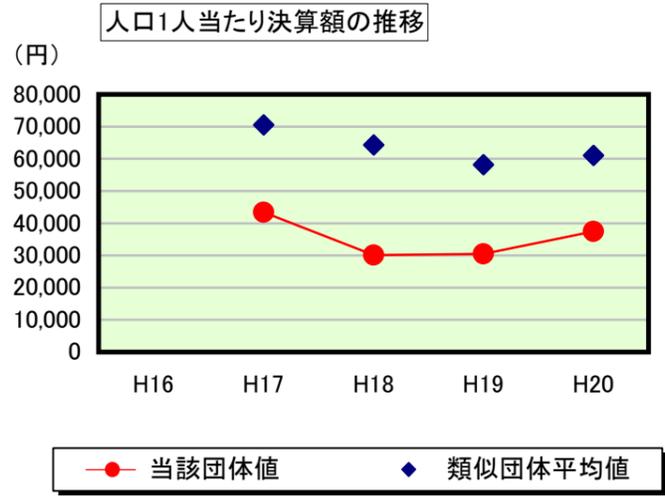
※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

千葉県 いすみ市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H16	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H17	1,886,727	43,431	-	70,563	-	-
うち単独分	1,152,728	26,535	-	38,225	-	-
H18	1,302,315	30,145	▲ 30.6	64,305	▲ 8.9	▲ 21.7
うち単独分	801,132	18,544	▲ 30.1	34,136	▲ 10.7	▲ 19.4
H19	1,304,058	30,479	1.1	58,137	▲ 9.6	10.7
うち単独分	701,017	16,384	▲ 11.6	29,406	▲ 13.9	2.3
H20	1,589,566	37,412	22.7	61,050	5.0	17.7
うち単独分	394,313	9,281	▲ 43.4	31,167	6.0	▲ 49.4
過去5年間平均	1,520,667	35,367	▲ 2.3	63,514	▲ 4.5	2.2
うち単独分	762,298	17,686	▲ 28.4	33,234	▲ 6.2	▲ 22.2